

白いスズメ!? 民家で保護



前原さん宅で保護されている突然変異で体の色素が抜けたスズメのアルビノ（白化個体）

【南風原】全身を白い羽毛で覆われた「白スズメ」とみられる鳥が南風原町大名の解体業事務所に迷い込み、隣に住む愛鳥家の前原信隆さん（73）宅で保護されている。沖縄野鳥の会の山城正邦会長によると、突然変異で体の色素が抜けたスズメのアルビノ（白化個体）で、発見されるのは珍しいという。

「白スズメ」とみられる鳥

南風原・大名

が発見されたのは5月11日朝。解体事務所の職員が捕獲し、愛鳥家で知られる隣家の前原さんに託した。許可を得てメジロを飼育するなど鳥に詳しい前原さんが見たところ、右足などだけが白い、弱っていたため保護したという。

最初は餌を与えても食べず、前原さんがくちばしを広げ、餌を与えるうちに元気を取り戻したという。

最初は餌を与えても食べず、前原さんがくちばしを広げ、餌を与えるうちに元気を取り戻したという。

（石川理香）



動画

（2012年5月30日 1面）

☆スズメと思われる白い鳥は、保護された時どういう状態だったのでしょうか？

☆スズメは本来、どんな色で、どんな模様をしているか調べてみよう。

年 組 名前